

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第2号（イチゴうどんこ病）を発表しましたので、送付します。

病害虫発生予察 注意報第2号

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 うどんこ病
- 3 予報内容
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生量 多
- 4 情報の根拠

- (1) 11月中旬の巡回調査で、発生ほ場率は41%（平年20%）と平年より高く、発生程度の高いほ場も認められた（表1，図1）。
- (2) 定植後の高温，日照不足により生育が軟弱気味に推移しており，感染しやすい状態である。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予想されており，発生しやすい条件である。

表1 うどんこ病の発生状況 調査日：11/15～22

地域名	調査ほ場数	発生程度別ほ場率（%）					計
		甚	多	中	少	無	
日置	5		20	20		60	100
川薩	5		20			80	100
曾於	7				57	43	100
計	17		12	6	23	59	100

5 防除上注意すべき事項

- (1) 新葉の葉裏に発生しやすいので，こまめに観察し，早期発見と初期防除に努める。
- (2) 発病葉や発病果は早めに除去し，施設から持ち出して処分する。
- (3) 発病を認めたら直ちに防除を行い，その後は約7日おきに防除を行う。薬剤によっては感受性が低下している可能性があるため，散布後は防除効果を確認する。
- (4) 薬剤は，葉裏に十分かかるよう散布する。防除効果を高めるために展着剤を活用する。
- (5) 窒素肥料の過多や葉が混み合うと多発しやすいので，適切な栽培管理を行う。
- (6) 同一系統薬剤の連用を避け，作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。

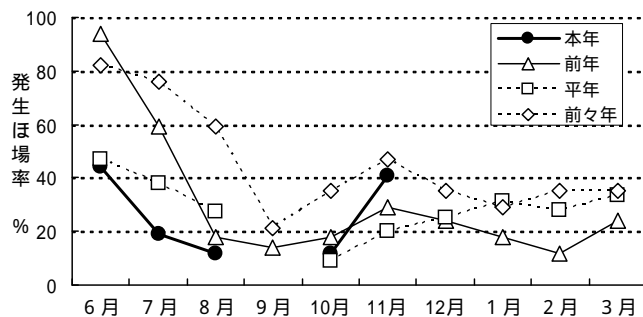


図1 うどんこ病発生の推移（イチゴ）